

オンライン留学終了報告書
近畿大学 国際学部 グローバル専攻
上海大学(中国)
交換留学

上海大学での交換留学は 6 月 1 日に終了し、この間の私の主な仕事は、2 つの授業の期末試験を終わらせることでした。

一つ目の授業では、成績の 50%がコンペティションの結果に影響されました。その結果、私たちの参加度合いと、最終的に算出される株主還元率で構成されていました。非常に残念なことに、私たちのグループは第 6 期決算で大きなトラウマを抱え、当社株式はすべてペニーストックと化してしまい、崩壊してしまいました。そこからの経営に苦心しても、株主還元を大きく改善することはできませんでした。その結果、私たちのグループは最下位になってしまいました。でもこの期間、経営や株の勉強は最速でできたと思います。最終回には先生による激しい議論と分析があり、期間終了時のこの 1 週間の身につけら内容は前月と同じでした。そして、グループのメンバーは少し意気消沈しているように見えてましたが、皆が自分の強みを活かして、会社が抱える問題を解決する方法を模索し始め、この最終週はより親密な関係になりました。結果は残念でしたが、専攻外の学生として、授業をリードする責任を負い、すべての授業に参加し、会社のすべて決断に参加し、今まで学んでこなかったことを学ぶことができ、とてもやりがいのある授業になったと思います。

私のもう一つの授業は、この授業とは全く逆のものでした。この授業もグループワークとプレゼンテーションでしたが、グループのメンバーが足を引っ張ると大変なことになることを初めて知りました。ディスカッショングループで何を言っても反応してくれる人が少ないので、一人でパワーポイントをつくって、それまでにみんなが言ったことを踏まえて事業案をまとめました。正直、彼らの怠慢や無関心さには腹が立ちましたが、グループの中で責任を取らない人がいる場合は、もっと主張すべきなのだと気づかされたのも事実です。

上海の大学での授業は全体的に面白く、起伏に富んでいて、嫌なこともありましたが、専門的

な知識や人と接するスキルを多く学べたという点では貴重な経験でした。